



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
12月15日
発行

第198回

「2024年の株式市場見通し」

～日本株上昇を見込む～

初めに

世界的に見て今年は株式市場にとって非常に厳しい年でした。ウクライナ戦争は依然続いており、加えて中東ではハマス・イスラエル紛争が勃発しました。この二つはいずれも解決しておらず、来年も地政学リスクは内外の株式市場に影響を与えるでしょう。

日本株好調の理由

その中で好調に推移したのが日本株です。日経平均は一年を通じて3万円前後で推移し、バブル後の新高値を更新しました。このように日本株が他市場と異なり上昇した理由はいくつかあります。例えば、外国人が日本株を大量に購入したことです。世界的な株式投資家であるウォーレン・バフェット氏もその一人です。来日して大手商社株などを買い増しました。その他の日本企業の企業業績が好調なことも、日本株好調の理由と思われる。以前のこととなりますが、岸田首相が外遊の際に「Invest in Kishida」と日本株を買うように海外投資家に呼びかけたことや、NISAを推進したことも大きな効果があったと思います。

大統領選で期待される米国の景気回復

そして、来年11月には米大統領選挙が行われます。ご存じのように、選挙戦では多額の資金が飛び交い、米国の経済にとって大きなプラスとなります。これまではインフレやその対策としての金利引き上げ、さらに大手金融機関の破綻などが相次ぎました。しかし、そうした問題も解消しつつあるようです。11月末の感謝祭セールも盛況だった様子で、これから大統領選挙に向けて米国での消費は加速することになるでしょう。

来年の見通し

一方、日本に目を向けると、トヨタを筆頭とする製造業や、インバウンドの恩恵が続くサービス業のいずれも、今後も業績の好調が見込まれており、来年も日本株の好調は続くと期待しています。

女性の活躍に注目

ところで、来年のNHK大河ドラマ「光る君へ」は、紫式部が主人公です。来年、自分が注目しているテーマは、女性の活躍です。日本では女性の政治家が少ないというのは周知の事実ですが、それを解消するために岸田首相は歴代最多と並ぶ5人の女性を閣僚に登用しました。こうした女性閣僚の方々が今後どのような活躍をみせてくれるのかに注目しています。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。